



村のうごき

販売戦略をまず考えて 銀杏栽培講習会



▲大玉村での現地視察のようす

村が行う新規作物栽培実証事業の栽培品目となっている銀杏の栽培方法について学ぼうと、10月16日、役場で講習会が行われました。

農家を対象に銀杏博士こと佐藤康成さん（新潟県地域おこしマイスター）を招いて行われたこの講習会には、栽培を予定している農家17人が参加しました。

講習会で佐藤さんは「銀杏を栽培する前に、みんなで集まってどう売るかぜひ考えて欲しい。銀杏も売れなければただ



▲「販売戦略が大事」と話す佐藤さん

のゴミ」と販売戦略の重要性を喚起した後に、自身の体験から栽培方法や栽培上の注意などを熱心に話していました。

参加した農家の人達は佐藤さんのストレートな話しぶりに、興味深そうに耳を傾けていました。

また、翌17日は大玉村と白沢村で銀杏栽培のようすを実地研修。参加者らは佐藤さんの解説を聞きながら見聞を深め、今後の栽培の参考にしようとしていました。

熱戦始まるも雨天中止

大会中止は10年ぶり



▲雨の中行われた「三人四脚」

第41回村民体育大会は10月12日にスポーツ公園で行われ、2種目を実施した時点で雨天のため中止となりました。

体育大会が中止になったのは平成5年以来10年ぶりとなりました。

今回の大会の取り扱い、41回村民大会自体は成立ですが、各種目の行政区毎の得点はノーカウントということになりました。

大会は中止となったものの、各行政区では懇親会が予定どおり行われ、住民らが親睦を深めました。